

番 号	10327
効用の種類	ふれあいによる生理・心理的効用
タイトル	茨城県下の福祉施設、医療施設等における 健康法、療法としての園芸の活用に関する調査研究
概 容	福祉施設や医療施設において園芸活動がどのように活用されているのか、その実態を把握するために実施したアンケート調査の結果報告。その結果、農・園芸活動の実施頻度は、福祉施設よりも医療施設で高く、用いられる植物は「野菜」と「草花」が顕著に多く、その導入目的は気分転換やストレス解消、栽培や収穫の楽しみを挙げる施設が多く、効果としては「明るくなった」、「情緒が安定した」などの心理的効果の他、「体力がついた」、「周囲との会話が增进了」などの回答が多かった。
内 容	<p>(目的) 福祉施設や医療施設において園芸活動がどのように活用されているか、その実態を把握するための全国調査の一環として、茨城県の調査を行った。</p> <p>(調査方法) 茨城県内の806の福祉施設並びに、精神科、神経科、心療内科、リハビリテーション科、特例許可老人病院及び療養型病床群を有する155の医療施設を対象にアンケートを実施。</p> <p>(結果および考察) 有効回答率は30.4%であった。回答施設のうち農・園芸活動を実施している施設は福祉施設で43.4%、医療施設で49.1%、全体で44%であった。農・園芸活動に用いられる植物としては、「野菜」35%、「草花」33%と顕著に多かった。活動の指導は、専門家以外の職員が行っている施設が28%、と最も多く、農業・園芸関係の専門家の少ないことが明らかになった。活動を導入した目的では、気分転換やストレス解消、栽培や収穫の楽しみを上げる施設が30%以上と多かく、その効果としては、「明るくなった」、「情緒が安定した」などの心理的効果をあげる施設が多かった。活動の問題点としては、「専門家がない」、「スタッフの人的体制が整わない」などの人的問題を指摘する施設が40%以上と多かった。また、農・園芸活動を行っていない施設からは、これら人的問題のほか、活動場所の問題が多くあげられた。</p>

表1 茨城県下の福祉施設、医療施設等におけるアンケートの回答数並びに農・園芸活動の実施状況

	福祉施設								合計
	身体 知的発達 精神					計	医療施設*	不明	
	高齢者	障害児	障害者	障害者	障害者				
アンケート回答数	168	20	32	53	17	290	55	5	350
農・園芸活動実施施設数	67	11	16	26	6	126	27	1	154
農・園芸活動実施率 [▽] (%)	40	55	50	49	35	43	49	20	44

* 病院のうち、精神科・神経科・心療内科・神経内科・リハビリテーション科・特例許可老人病院・療養型病床群の各診療科に対してアンケートを実施

▽ 農・園芸活動実施率=農・園芸活動実施施設数/アンケート回答数

表2 茨城県下の福祉・医療施設等における健康法、療法としての農・園芸作業の効果〔複数回答；回答率(%)〕

	福祉施設								合計
	身体 知的発達 精神					計	医療施設		
	高齢者	障害児	障害者	障害者	障害者				
身体的な面では...									
体力がついた		15.5	20	18.7	20.8	17.6	17.2	18.2	17.4
食欲が増した		7.7	35	34.4	15.1	17.6	14.5	12.7	14.0
不眠が改善された		4.7	20	18.8	5.7	0	7.2	5.5	6.9
失禁が改善された		1.2	0	0	1.9	5.9	1.4	1.8	1.4
心理的な面では...									
明るくなった		17.3	45	25	18.9	17.6	20.3	23.6	20.9
情緒が安定した		16.1	40	28.1	20.8	23.5	20.3	12.7	19.1
積極性が出てきた		13.7	35	15.6	11.3	17.6	15.2	16.4	15.1
痴呆症状が改善された		1.8	5	0	3.8	0	2.1	0	1.7
社会的な面では...									
戸外を好むようになった		15.5	25	15.6	15.1	17.6	16.2	12.7	15.4
周囲の人との会話が増えた		14.3	20	18.8	9.4	11.8	14.1	16.4	14.6
周囲の人・出来事に関心持つようになった		11.9	25	3.1	15.1	5.9	12.1	10.9	11.7
友達や仲間ができた		7.7	10	18.8	7.6	11.8	9.3	12.7	10.0

表3 茨城県下の福祉・医療施設等における健康法、療法としての農・園芸作業の問題点・課題〔複数回答；回答率(%)〕

	福祉施設								合計
	身体 知的発達 精神					計	医療施設		
	高齢者	障害児	障害者	障害者	障害者				
医・福祉と農・園芸の知識・技術を持った専門家いない	48.8	50	40.6	47.2	35.3	46.9	30.9	44.6	
スタッフの人的体制が整わない	41.1	55	46.9	49.1	47.1	44.5	34.6	42.9	
面積や土の性質等、活動場所そのものに問題あり	32.1	20	40.6	37.7	35.3	33.5	29.1	32.3	
農・園芸活動に対する利用者の興味が少ない、ない	22.0	25	25.0	32.1	29.4	24.8	21.8	24.0	
障害に合せた設備が必要であり資金面で問題がある	22.6	15	21.9	20.8	23.5	21.7	18.2	21.1	
雨天に対応する温室等の充実が困難	19.0	35	18.8	20.8	17.6	20.3	12.7	18.9	
治療・訓練の成果に対する評価が難しい	19.0	25	15.6	17.0	29.4	19.3	18.2	18.9	
農・園芸活動の効果に対し職員の認識徹底していない	20.8	25	12.5	24.5	11.8	20.3	10.9	18.6	
農・園芸活動を手伝うボランティアが少ない、いない	17.9	30	9.4	13.2	17.6	16.9	10.9	15.7	

出典

人間・植物関係学会雑誌 第2巻 別冊：38-39 木村正典、宮田正信、池田尚弘、樋口春三

備考